

出会い ふれあい 助け合い

サロンあべの

VOL.168

楽しい旅のはなも

へサロン・あべのの5月の出会い

平成12年5月20日(土)午後1
時からのへサロン・あべのの5月
の出会いは、作業所の所長を務め
るかたわら、旅行情報誌「W o
o」を主宰されている、中田治
さんに「楽しい旅のはなし」を
していただきました。

自己紹介

初めは、奈良のたんぼぼの家
に勤務。その後、旅行会社に転
職。10人から300人ほどの団
体旅行などを企画して100回
近く旅行をしてきたが、阪神大
震災で親類数人の死に直面し、



本当にやりたいことをしようと思った。自分の体調や身内の介助などのことを考えて旅行会社を辞めた。今は介護の時間をもてる障害者の作業所に転職し、旅行会社に勤めた経験を生かして、障害のある人たちと安くて楽しい旅行を企画したり、旅のエッセイなどを書いている。

— 海外編 —

○「59、8000円のメチャヤン オーストラリア6日間の旅」

団体旅行で36人がアンセット オーストラリア機を利用、直行便で4泊6日の旅をした。宿泊は4つ星クラスのホテル。3泊をゴールドコーストで、1泊をシドニーで過ごした。オーストラリアはリフト付きバスはない

が、リフト付きタクシーがある。通常のタクシーと同じメーター料金で、予約なしで利用できる。リフト付きタクシーは後部座席の外側にリフト機が付いているので、車内は広く電動車椅子が



中田治さん

2台入り8人が乗車できる。国内は大抵日本語が通じる。チップもあまりいらぬ。バリアフリー度も大阪より、かすかに上のんびりと自由に楽しめるし、通りすがりの人はやたら親切。

食事も安く、おすすめはでっかくカタイ(脂肪分が少ないから)ステーキ。障害者用トイレもあるが男女兼用。国が広く道路がよいので、国際運転免許を取得すれば、手動式のレンタカーを借りて走れる。とにかく広いので給油所からつぎの給油所までの間隔が長いので給油所を見れば給油しておかないとガス欠になる心配がある。治安もよく、雨も少なく、物価も高くないのがうれしい。

○その他の外国のオススメ

時間とお金があれば、スイス。交通のアクセス(列車やタクシーなど)が良い。ホテルや観光地も障害者に対応されている。モンブランを眺めたい車椅子の方の新婚旅行に同行したときは、ジュネーブからタクシーでフラ

ンスに入り、シャモニーからロープウエーでエギュードミディに登り眺めた。

国際運転免許を持っているなら、カナダやニュージーランド。大自然が残っており、時速100kmから130kmで走る。

その他、安心して行ける地域としては、ハワイ・ラスベガス・香港・タイなどがおすすめ。

— 国内編 —

○行くなら秋、

日本一おいしい栗きんとんが おすすめの木曾路

木曾路妻籠宿は、昔の面影を残している中山道の宿場町、坂が急で車椅子で行くなら体力が必要。裏道に駐車場があるが、手前の大きい場所は階段を上って行かなければならないが、そ

こからまだ奥へ行くと、小さな駐車場があり、そこは平坦で橋を渡ると妻籠の街道に出ることができる。この粟は日本で、特に粟きんとんは名物。生ものなので他所には出していない。この街道の店でしか味わうことのできないものなので、ぜひ行って味わって欲しい。馬籠宿は道が平坦で動きやすい。

信州にはペンションが全国一多くあり、障害者の設備が整った民宿やペンションが4〜5軒ある。中でも八ヶ岳にある「太陽の子」は整備されている。

旅行を楽しむするには

資料集めをする。国内旅行ならば、大阪駅前第1ビルや市内随所にある各都道府県の出張所に行けば詳しい地図や観光地・宿泊場所などの資料が得られる。

また、こちらの要望や、条件を出して資料を取り寄せてもらうこともできる。公共の宿泊所、特に新しくできたところは車椅子や障害者対応が整っているところが多い。グリーンピア、かんばんの宿、国民宿舎など。旅行先の観光だけでなく、雨天の時も行ける所（美術館や博物館など）も確認しておくとうい。

海外の場合は、旅先での治安、

ガイド（現地をよく知っている人）、地形、天候、交通アクセスなどしっかり把握しておく。旅行でハプニングや不便なことがあった場合、新しい体験として楽しむ。現地でお世話になった人には、その日に礼状を出す。特に外国にいた場合、日本から絵はがきなどを用意しておき一言「サンキュー」と書いて出しておく。帰国してからと思うとついのびのびになって書きづら

くなる。

旅行の費用を安くする

旅行の費用として含まれるものとして（一般的広告の国内パス旅行の場合）、交通費、宿泊費、保険料などである。費用を削るには（個人で企画するとして）、諸手続き料や添乗員・ガイド料などを自分たちのグループでやる。また、団体旅行には

障害を持つ人が断られることが多いが、ツアーの1セット企画をそのまま買い取りその中に障害者がいて、自分たちで同行するならできる…など。

たくさんのお話を聞かせていただきました。初めて参加された方も多く、旅に寄せる思いの多さを感じたハサロン・あべのV5月の出会いでした。

参加者18名(山村貴司)



自立生活理念を考える —自己決定と介助—

■ 1 ■

黒田隆之

〈サロン・あべの〉の皆さま、はじめまして。大阪府立大学の大学院で障害者福祉の研究をしています黒田隆之と申します。昨年亡くなられた大阪府立大学社会福祉学部の定藤丈弘先生のゼミで、自立生活に関する勉強をしてきました。今月号から、しばらくの間、「自立生活理念を考える—自己決定と介助—」と題して、私の研究ノートを連載させていただくこととなりました。いろいろとご意見・ご批判をいただけましたら幸いです。

自立生活理念は、今日の障害者福祉の基本的理念として大きな影響力をもつようになった。周知のように、この理念は、1970

年代のアメリカにおける障害者の自立生活運動の中で提起されたものであり、障害者自らが生活の主体者として自己形成を図ることを自立として重視するものである。

例えば、北野誠一先生は自立生活の意味を「障害者ひとりひとりが、社会の援助を使いながら、できる限り本人が希望するあたりまえの生活ができること」としている。

従来のリハビリテーション界における伝統的な自立観では、経済・職業的自活や日常生活動作（ADL）を重視する考え方が支配的であったため、身辺自立が困難な重度障害者や職業的自立が困難な障害者は、自立できない存在としてとらえられ、親同居での在宅生活もしくは施設等で、保護・隔離的な生活を送らざるをえなかった。

しかし、自立生活理念は、障害者がたとえ日常生活で介助が必要であっても、自らの人生のあり方を自らの責任において決定し、また自らが望む生活目標や生活様式を選択して生きる行為を自立ととらえることで、従来の自立観では自立困難とみなされていた重度障害者にも自立の可能性を広げた。

「障害者が他の手助けをより多く必要とする事実があっても、その障害者がより依存的であることには必ずしもならない。人の助けを借りて15分かかって衣類を着、仕事にかけられる人間は、自分で衣類を着るのに2時間かかるため家にいるほかはない人間より自立している」といわれるように、自立生活理念は、障害者が、多くのサービスを利用しながらQOL（生活の質）を自ら充実させていく行為を自立ととらえている。

自立生活理念における自立を考えるときに、キーワードとなるのが自己決定である。定藤丈弘先生が、「身辺自立の困難な障害者が自己決定に基づく自由な生活を享受しうるには、それを保証する介助者ケアが不可欠となる。そこで自己決定権は何よりも介助者ケアの場で行使される」と述べているように、障害者にとっては介助者との関係の中での自己決定が生活のもっとも多く場面を占めることになる。介助という関係行為の中での自己決定について考察することは、自立生活を考えるうえで重要な課題となっている。

★自尊の感情

人が心穏やかに日々を過ごすためには自尊の感情が必要だという。自尊の感情とは、自分を尊敬する気持ちである。

自分を尊敬することは自惚(うぬぼ)れることとは違う。あるいは傲慢になることでもない。誰かと比べて優れていると感じることではなく、人として自分の生活に誇りを持ち、いまの自分があるべきところにあると喜びをもって信じられることだと思ふ。

自尊の感情は脆(もろ)いものだ。たとえば職を失い、再就職にも失敗し続けると、自分は誰にも必要とはされないの



だと思ひ、自尊の感情が傷つく。失業によつて経済的に苦しくなれば、家族の負担を申し訳なく思ひ、悔しく感じることもだろう。

家族や親しい友人との関係の失敗も、自尊の感情を傷つける。自分は人とはうまくやつていけない、安定した愛情ある絆(きずな)を保つことができないという思ひは、自分自身の価値を疑わせるのである。

重要なことは、自尊の感情が傷ついたままでは人は心のバランスを失うということである。かといつて、自尊の感情を傷つけた原因、たとえば失業や家族関係の破綻(はたん)などをすぐに無くすことはできないから、それを気持ちのうえで補うことが必要になる。ただ、その補いかた次第で、ますます自分を傷つけてしまうことになりかねない。

ある人は仕事を失ひ、再就職にも失敗している。この失敗の連続は辛いものだ。

家族の生活は苦しくなり、妻や子どもたちも楽しんでいた趣味の活動を諦めなくてはいけない。苛立ちが家族の心を覆う。彼の自尊の感情はひどく傷ついているが、それを苛立つ家族のなかで補うのは至難の業だ。

やがて、彼は自分の家族を責めるようになる。彼が再就職できないのは、家族が協力的ではないからだと言う。こんなところに住んでいなければ、もっと妻の親族が彼を応援していれば、技術を学ぶ学校に自分が通うことに賛成してくれていたら、こんなことにはならなかったと不満をいう。

責められた家族は、最初は少しは彼の言ひ分に耳を傾け、心を痛めたかもしれない。しかし、それを言われ続ければ、こんどは彼らの自尊の感情が傷つく。そして、傷ついた自尊の感情を補うために逆に彼を責めることだろう。

誰も責めることができなくなれば、酒

を飲み、大きな声を出して、どれほど自分がつまらない毎日を送っているかを誰かれかまわず訴える。自分もまた価値ある人間だと思っているのに、誰も認めてくれない。その価値に気づかないのは周囲の人々が間違っていると考え、周りを見下すような態度をとる。ただ、誰も信じていない自分の価値を自分だけが信じてるのは、どこまでも頼りないものだから、不安は積もる一方だ。

では、自尊の感情が傷ついたとき、誰も責めることなくどうやって、その傷を補えばよいのだろうか。

ひとつの方法は同じ境遇にあって、しかも人として尊敬に値する態度を保っている人々に出会うことだと思う。失業して毎日のように職安に通い、就職に失敗しつづけても、励ましあい、いたわりあう家族がある。そういう家族を前にすれば、私たちは自然と敬意をもつことだろう。そしてどのような境遇にあっても人として誇りうる態度をとることができるのであり、それこそが自尊の感情を補って余りあるのだと知るのである。(知)

電話は早い、ファックスも
Eメールもある
けど、こころ伝わる
サロンの絵はがきが、いい。

サロンの絵はがき

五枚一組 八〇円

植物あれこれ

第十七回

山口康二郎

「植物は考える」

—植物も会話している— ②

光を使ったコミュニケーションについては、ほとんどの方がご存じだったろうと思いますが、植物は光の他にさまざまな化学物質を発散して情報伝達をしていることが最近解明されかけています。

植物は動けないので、自ら成長するためいろいろな昆虫や動物に助けられてもらっています。例えば花粉を媒介したり、種子を散布してもらうことなど、自らの一部を食料に提供し、お互いの共存を図っているといえます。

しかし、それには危険もはらんでいます。動物の数が増え過ぎた時などは、自らの死が待っています。特に深刻なのは種子として未成熟な時、動物に食べられることです。そこで植物は未熟な段階では動物に「いま食べてもらうては困ります」という情報

を発信し、動物や昆虫にコミュニケーションを交わしているといわれています。

先日、和歌山の田舎に行き、畑に植えているイチゴを食べました。少し赤味が薄いので一日待っていると必ず次の日はなめくじにやられてしまつてくやしい思いをしました。完熟したイチゴは虫たちに「食べてもらつてよろしいよ」と甘い香りの化学物質を出して知らせたのです。

さて、イチゴの果実といえば、食べて甘酸っぱいあの赤い部分を思い浮かべ、その周りの小さなツブツブが種子だと思われるでしょうが、そのツブツブも実は果実なのです。種子は果実の皮の内側にびつたりくっついていきます。果実のように見える部分は「花托^{かたたく}」と呼ばれる雌しべの付け根の部分が大きくなったものです。イチゴは種子を播く方法として動物に食べてもらい、糞として出してもらう方法を選んだのです。そのために「花托」を果実に似た魅力的で

おいしくする作戦を実行したのです。

誰もがイチゴの果実だと思っていたものが実はにせものだったのです。

植物学ではそれを「擬果」と呼びます。

いちごの種子は二枚の薄皮に包まれ、動物の胃の中では消化されず、確実に糞として排出されるように工夫されているのです。

ということ、イチゴが人間に食べられると、せっかくの努力が無になることにならるのでは？……



美智子のこんな話

岸田美智子

介護保障はどうなるのか？

毎年この時期に、厚生省から各市町村の担当者に福祉施策の説明や変更点などを中心に会議が開かれています。その会議の名前は厚生省障害者保健福祉主管課長会議というそうです。その時に出される資料についても注目していかねば、今年一年の福祉制度の動きからかけはなれた無駄な努力をしてしまう、ということにもなりかねません。

でも、この資料は行政用語が多く、私た

ちには何を書いてあるのか分かりづらいという難点があります。

ホームヘルパーなどに関するところだけを取り上げてみますと、これまで高齢者と一体となって運用されてきたホームヘルプサービスについては、介護保険の移行に伴い、障害者へのホームヘルプサービスについては障害者福祉行政で責任を持って、体制整備を行うこと、市町村障害者計画などに基づいて計画的な増員を図ることが再度強調されている。このようなことから、ヘルパーの資格制がどのように重きを置かれてしまうのか、とても心配です。

私たちが日常的に介助者としてお願いしている人たちの中には資格がない介助者も大変多いのが実状です。介助については、改めてこの場で書く必要もなく、資格云々ではなく、経験や慣れが介助を上手く行えるかどうかの大きなポイントになると私たちは実感しています。果たして今後障害者福祉課でどのようにしてヘルパーを育成していくのか、私たちが常に注目していきたいと思えます。



表紙が変わりました

こころ ふれあう

一筆箋

1冊100枚綴 ¥150-

サロン・あべのの運営資金にご協力ください。

その他には「知的障害者の生活支援」という項目でまとめられ、グループホームなどでの就労要件の撤廃とともにホームヘルパーの要綱が大幅に改定されました。その一つに福祉ホームやグループホームの利用者もホームヘルプサービス事業の対象とする予定である、ということですが、大阪では現在でも派遣されている例もありましたが、これを制度的に認められたことになりました。

そのサービスの内容についても具代的な例を挙げ、明記されています。その内容については、とても多岐に渡り、よりその人らしい地域での自立生活の実現へ向けての支援になっています。ここに、この支援内容を掲載しておきます。ぜひ皆さんもこの資料を読んでみてください。

【知的障害者へのホームヘルプサービスの具体的内容例】

1. 介護

①入浴

入浴習慣がついておらず、自分できちんと身体や髪を洗えない者について、背中

などを流し、洗髪などを行う

②食事

病気などのため、食事ができない場合の介助

③排泄

排便後の処理の介助

④衣類着脱

四季に応じた服装の選択、その場の状況に応じた服装への着替えの介助

⑤その他

- ・ ひげ剃り、つめ切り、耳そうじの介助
- ・ 薬の管理（一週間分の薬の仕分けなど）
- ・ 自傷、他傷、異食行為などのある者の危険防止への対応

2. 家事

①掃除、洗濯

・ 週に一〜二回の掃除、洗濯

②買い物

・ 食料品や生活必需品などの購入

③関係機関への連絡

・ 行政機関、サービス機関などへの申し込み、手続きなど

④炊事

・ 風邪で寝込んだ時などの食事の用意

3. 相談、助言

①生活上の相談

- ・ 日常生活における暮らしの相談
- ・ コミュニケーション支援

②話相手

- ・ 対人関係が不得手でありコミュニケーションの持てる友達も少ない者への対応

4. 外出時の移動

- ・ 公的機関、病院、美術館、映画館、遊園施設、デパートなどへの道案内
- ・ 事務手続きの支援
- ・ 病院などの待合室で、順番を待つための支援など

○連絡先 自立生活センター・

MYDDO（まいど）

大阪市住吉区長居西1-9-12

(キミハウス1階)

TEL・FAX (06) 6609-3133

担当 紙谷・岸田

サロンで豊かに

ご無沙汰致しております。

毎月、きっちりハサロン・あべのV紙をお送りいただきまして、嬉しく楽しみに拝見しております。

4月の出会い「ピア・カウンセリング」に出席できたらよかったのにと残念に思っております。

また、私のような一般参加の障害者にとりましては、上平氏のおっしゃるようにハサロン・あべのVは実に都合のよい学習の場であり、その上自分の意志を発表出来るところでもあり、実にすばらしいところだと思います。

たまに寄せていただいても皆さん温かく歓迎して下さって、自由などでも居心地のよいところです。そして、いつも、しんどいけど参加してよかったです。何か喜びと得るものをいただけて帰ります。サロンのお仲間に入れていただいて、私の人生も豊

かになったと心より喜んでいきます。どうか、今後ともよろしくお願い申し上げます。

杉山 蔦枝

サロン活動に出会って

このたびは、たいへん素敵なハサロン・あべのVの機関紙をお送りくださいまして、ありがとうございます。本当に素敵な機関紙で、すみずみまでのしく熟読いたしました。

サロンのありがた、人と人とのふれあいを通して、そこから生まれる力が今後、ますます広がっていったらいいなあーと思いました。

私は、今、社会福祉実習をしまして、すこしむずかしく、サロンのありがたやセルフヘルプのありがたなどに、こだわりす

ぎていたような気がします。根本は、人と人の関係がいかに素敵かということなのです。

今は実習中なので、ハサロン・あべのVにお伺いさせていただくことができません。本当に残念ですが折り合いがつけば、ぜひハサロン・あべのVについてみたいです。富田さんが「障害はグー チョキ パーの関係で、出来ないことを補い合えばいい」とおっしゃってましたね。

そのひとことで、私は、今までの悩みや思いつめていたものが、一気に氷解されていた気がしました。

本当にありがとうございます。また、ぜひお会いしたいと思っております。よろしく願います！

桃山学院大学四回生

谷田 やすよ

☆編集部あとがき…

谷田さんとは、平成12年4月29日(日)に天王寺区民ホールで開催された第2回ボランティア活動研究集会第4分科会「障害者自身のボランティア活動」で出会いました。サロンでの出会いを楽しみにしています。

感謝

カンパ、はがき、お茶、お菓子、バザー用品等のご寄贈を、また、サロングッズのお買い上げをありがとうございます。

石原 栄 (大阪義肢装具センター)、
稲川絢子、田村昌子、露木昌代、
富田万里子、中田 治、藤井さゆり、
宝示愛子、松森美智子、吉原和郎、
その他の方々



「これでもか、これでもか」と降り続かれると、陰鬱な気にもなるが梅雨もなければ困る…と思ひ直し、大昔の映画みたいに「雨に唄えば」心楽しくなるのでは。
なにがなんでも「かるた」です。

解説付き かるた冊子 一五〇円

お願い

今月は、お休みをしていますが、「くサロン・あべの」とは？」という連載を書いている、うえひら☆ゆきおです。

みなさんは、あの文章を読んで、どう思われましたか。共感できる部分とできない部分があると思いますが、くサロン・あべのくに対する、みなさんの思いを、教えていただけませんか。

その思いを、自分なりに消化した上で、次回からの連載に、織り込んで行こうかと考えています。

手紙・電話・電子メール…。どんな方法でも結構ですので、うえひらまで、お寄せください。

よろしくお願いします。

宛先は、

〒545-0021 阿倍野区阪南町2-19-2-303

上平幸雄 (うえひら☆ゆきお)

TEL/FAX 06-6621-4365

E-MAIL: uehira@dl.dion.ne.jp/

まで。

お知らせ

くサロン・あべのく7月の出会い

日時 …7月15日(土)午後1時~4時

場所 …育徳コミュニティーセンター
2階研修室(ロープ・軌付付)

[阿倍野区阪南町5-15-28]

内容 …小さな小さな国際交流

— 不要になった車椅子を
南アフリカへ—

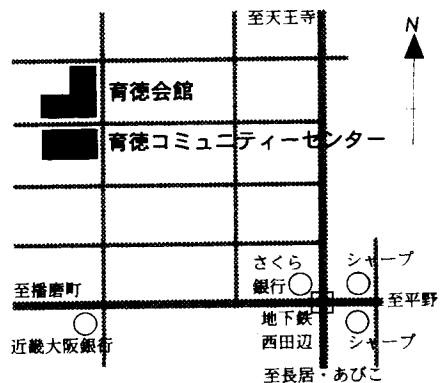
パネラー…トーマス・C・カンサ氏

(南アフリカの子供たちを支援する会)

会費 …なし

お問い合わせ先…

TEL06-6691-1028 (富田慶子)



たまちゃん

1 男の美学

今からちょうど二年前の四月、あるサークルを通じて知り合ったたまちゃん。彼女とは親子ほど年が違うのに、気が合うのかよくお話をします。でもたまちゃんは博識なのでいつも私の方が教えてもらっています。それに私を車いすに乗せてあちこち連れて行ってくれたりしてとても優しい面もあります。

つい先日サークルに参加しての帰りのことです。たまちゃんに車いすを押してもらってナインバの地下街を歩いていました。そして地上に出るためにビルの中のエレベーターへ向かっていったのです。そうすると角からガードマンの姿が見えたかと思うと、私たちを見るとさっとふり返ってまた戻って行くではありませんか。私たちは何とも思わ

晴れのち晴れ ②1

稲垣 恵雄

ずにそのまま行きますと、エレベーターのドアが開けてありました。おそらくガードマンが私たちの車いすを見て、そうしてくれたのに違いありません。それにしても人助けをしながら黙って立ち去って行くなんて何とすてきな方でしょう。

「男の美学を感じるわ」

たまちゃんが車いすを押しながらぼつりとつぶやきました。

「なるほど、男の美学か……」

と私はその場では納得したのですが、帰宅してから「美学」とはいつたい何だろう、と疑問に感じました。

それで広辞苑で續くと「美学とは自然、芸術における美の本質や構造を説明する学問」となっています。ますます分からなくなりました。私には「美学」というものには余程縁遠いのかも知れません。

つづく

朗読テープの募集

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で(サロン・あべの)紙一六七号の録音テープ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

- I (サロン・あべの)紙は、第一号より一六七号までそろっています。(五〇号は九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は一二〇分テープ二本)
 - II (サロン・あべの)十周年記念誌「はーとが、はろー!」(九〇分テープ二本十二〇分テープに収録)
 - III 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
 - IV 「ラジオたんぱ」放送(サロン・あべの)平成七年五月の出会い」放送分(三〇分)
 - V エッセー集「逃げた『ヨナ』」ポランティア活動の周辺(岡本栄一著)系でんわ音訳
 - VI 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障者だけで旅した十余年(山田誠1995・2・22著)系でんわ音訳
 - VII 「金子みすずへの旅」(鳥田陽子著・九〇分テープ二本)系でんわ音訳
 - VIII 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口二著・九〇分テープ四本)系でんわ音訳
 - IX 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著・九〇分テープ五本)系でんわ音訳
 - X 「セルフヘルプグループ」(岡知史著・九〇分テープ二本十二〇分テープ)系でんわ音訳
- いずれもご希望の方には、ダビング、または貸し出しをします。富田までお申し出ください。

☎〇六・六六九一・一〇二八



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」7月の出会い

日時 ; 平成12年 7月16日(日)
午後1時30分～4時
場所 ; 「やすらぎ」
[大阪市淀川区三国本町2-14-3]
内容 ; 「楽しく出来ます、
リハビリテーション」
～どこでも、簡単に出来る

リハビリ中心のお話～

パネラー ; 川 口 智 美 氏
(大正区社会福祉協議会
作業療法士)

会 費 ; なし

問い合わせ先 ; 淀川区社協 絆ソフィア・ビューロー
TEL06-6394-2900

■「ウイズ東淀川」7月の出会い

日時 ; 平成12年 7月 9日(日)
午後2時～4時(開=1時30分)
場所 ; 大阪市東淀川区民会館4F会議室
[大阪市東淀川区東淡路1-4-53]
(クレオ大阪北裏、区民プール裏)
内容 ; 「～季節を信じて～」
講師 ; 鮫島まさみwith Dear Friends'
コンサート

[メンバー] 声- 鮫島まさみ・物- 井口善夫
ベース- 鎌田健次・キーボード- 山本葵(あひ)

会 費 ; なし

問い合わせ先 ; 鈴木 昭二
TEL.06-6340-3082
FAX.06-6340-3012

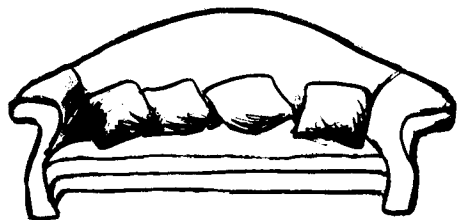
■「サロン・ひらの」7月の出会い

日時 ; 平成12年 7月22日(土)
午後1時30分～4時
場所 ; にこにこセンター
[大阪市平野区平野東2-1-30]
内容 ; ビデオ鑑賞
「君の手がささやいている」
会 費 ; なし
問い合わせ先 ; 平野区絆ソフィア・ビューロー
TEL06-6795-2200(大西)

■「サロン・にし」7月の出会い

日時 ; 平成12年 7月 8日(土)
午前10時30分～午後3時
場所 ; 西区民センター1階ホール
[大阪市西区北堀江4-2-7
地下鉄「西長堀」3、7号出口から
TEL06-6531-1400]
内容 ; 「福祉機器展開催!!」
～見て、触れて、体験できる福祉
機器。介護相談やリハビリ講座など～
会 費 ; なし
問い合わせ先 ;
TEL06-6537-0241(宮脇)

■「サロンいたみ」7月はお休みです。



<さろん亭>からのお願い!

恒例の<さろん亭>の開店が近づいてきました。タオル1本、石鹼1個でもかまいません、品物の提供をお願いします。

✓ <さろん亭>はチャリティーです・・・
<さろん亭>の売り上げはサロン・あべのの活動資金になります。どうか、売り上げにご協力ください。

✓ せっかくですが・・・
お使いになった食器類
賞味期限の切れた缶詰・瓶詰
衣料品 書籍・雑誌などは
<さろん亭>では売れませんので、
お断りいたします

連絡先：富田慶子 ☎545-0021 阿倍野区阪南町6-3-26 TELFAX 06-6691-1028

品物をご連絡くだされば取りにうかがいます。またこわれるものでなければ送料着払いでお送りくださっても結構です。

From EDITOR 編集後記

今月号から大阪府立大学大学院の黒田隆之さんの「自立生活理念を考える—自己決定と介助—」がはじまります。

ところで、夏恒例の「さろん亭」、今年は8月6日(日)にオープンします。この上の欄に「さろん亭」からのお願い事を、こまごまと書いていますが、<サロン・あべの>の運営資金の調達に、みなさま方のご協力をお願いします。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.168 [H.12. 6.17.発行]定価¥100.
代表；山村貴司〒546-0033 大阪市東住吉区南田辺5-1-18 TEL06-6691-9071
連絡先；富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 TEL・FAX06-6691-1028
表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子
郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941
印刷；セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミヌ-Dビル2F TEL06-6719-8212